

記	者	発	表	資	料
2	0	1	3	年	1
月	1	6	日		
文	化	ス	ポ	ー	ツ
振	興	部	文	化	振
興	課				
博	物	館	副	館	長
今	井				
電	話	0	4	2	-
7	2	6	-	1	5
3	1				

たがわすいほう

## 町田市立博物館で田河水泡コレクションによる 『笑いの中に ～近代の戯画・風刺画～』展を開催します

町田市立博物館では、2011年度開催の『笑いの中に～幕末・明治の戯画・風刺画』展に続き、2013年1月29日から『笑いの中に～近代の戯画・風刺画』展を開催します。本展は漫画『のらくろ』などで知られる故・田河水泡氏より寄贈されたコレクションを中心に、明治から昭和初期までの戯画・風刺画約300点（前・後期通算）を展示するものです。

展覧会名：笑いの中に ～近代の戯画・風刺画～

会 期：2013年1月29日（火）～3月3日（日）

月曜休館、ただし2月11日（月・祝）開館、翌12日（火）休館

前期1月29日（火）～2月11日（祝・月）

後期2月13日（水）～3月3日（日）

開館時間：午前9時～午後4時30分

観 覧 料：一般300円（障がい者150円）/中学生以下は無料

### 田河水泡コレクションとは

田河水泡（本名・高見沢仲太郎）は明治32（1899）年、本所区（現・墨田区）に生まれまし  
た。人気漫画家として活躍し、居宅も構えたものの、自然のある静かなところを好んだ水泡は、  
昭和44（1969）年から東京郊外にあって緑豊かだった町田市・玉川学園に家を新築して移り住  
み、平成元（1989）年に90才で亡くなるまでの20年間を過ごしました。

漫画を描きながら「滑稽」について深く関心を抱いていた水泡は、『滑稽の構造』（1981年・  
講談社）などの研究書も手がけています。町田市立博物館には研究資料として集められた江戸  
から昭和初期までの冊子や滑稽画など550点が寄贈されました。

### 関連イベント

#### ○講演会

日時：2月17日（日）午後2時から

講師：岩切信一郎（いわきり しんいちろう / 新渡戸文化短期大学<sup>にとべ</sup> 教授）

演題：浮世絵とカリカチュア

会場：講堂（博物館2階、先着70名・予約不要）

エレベーターの設置はありません

#### ○展示解説

日時：2月9日（土）、3月2日（土）各回とも午後2時～3時

解説：当館・学芸員

講演会、展示解説へのご参加は入館料が必要です。

## 展覧会の見所と、作品解説

### 1) 戯画・風刺(諷刺)画とは、またその見所は

戯画は戯れにおもしろ、おかしく描いた絵をいいます。近現代の漫画や古いところでは京都・高山寺に残された鳥羽僧正の「鳥獣戯画」(平安後期～鎌倉前期)などが知られています。一方の風刺画は、ときの権力者や社会などに対し、批判や抵抗を戯画・漫画的に描いたものです。頓知や機知がその命で、寸鉄人を刺すものや鋭さをオブラートに包んだものなどがあります。絵そのものの魅力はもちろん、思わずニヤリとしたくなる世界をお楽しみください。



肉筆漫画開国六十年史図絵 西南戦争  
服部亮英

### 2) 幕末・明治編に続く多彩な出品作品

近代編においても多くの作家・作品を紹介します。以下にその一部をご紹介します。

小林清親 / 弘化4(1847)年～大正4(1915)年  
明治を代表する版画家の一人で、幕臣から転じて浮世絵師となりました。西洋画風の遠近や、光と影の表現などを加味しながら豊かな叙情性をみせた「光線画」のシリーズが人気を得ました。その後、錦絵漫画や風刺画を手がけるようになり、風刺雑誌『団々珍聞(まるまるちんぶん)』(明治10年～40年)に政治家や世相などを痛烈に風刺した作品を発表しました。



清親放痴 東京谷中天王地  
小林清親

#### 【前期展示】

##### ・「清親放痴」(きよちかぼんち)

明治14年より発表されたシリーズ。ポンチとはイギリスの滑稽画入りの週刊雑誌( )に由来したもので、幕末から明治において西洋風の寓意をこめた滑稽画や漫画をそのように称しました。(『Punch, or the London Charivari』。同誌の派生雑誌『ジャパン・パンチ』(1862年創刊)が語源になりました。)

##### ・「三十二相追加百面相」(さんじゅうにそうつかひやくめんそう)

清親の作品には政治、経済などのほかに日常の中で目にするおかしみや滑稽さを取り上げた作品もあります。「三十二相追加百面相」は、人気を博した「新版三十二相」(明治15年出版/後期展示予定)に続くもので十七枚、六十八相が追加、出版されました。三十二相は仏に備わった32の特徴のことをいい、「新版三十二相」はこれをもじったものといえます。

#### 【後期展示】

##### ・「新版三十二相之内」(しんぱんさんじゅうにそうのうち)

八枚揃のシリーズ。それぞれ画面が4つに分割されていて、あわせて三十二の表情がコミカルに、生き生きと描かれています。

##### ・「酒機嫌十二相之内」(さけきげんじゅうにそう)

さまざまな酒癖が風刺を利かせながら洒脱に描かれたシリーズ。明治18年に出版されました。



酒機嫌十二相之内  
機嫌の宣なる酒癖  
小林清親

月岡芳年 / 天保10 (1839) 年 ~ 明治25 (1892) 年

最後の浮世絵師ともいわれた明治浮世絵界の第一人者です。歌川派・国芳の門下で、はじめ師風の武者絵や美人画を描いていましたが、血にまみれた人物のシリーズものなどで異彩を放つようになります。また、同門の落合芳幾とともに、錦絵新聞など浮世絵が新聞界へ進出するのに貢献しました。



機嫌競 官員・岳母 月岡芳年

岡本一平 / 明治19(1886)年 ~ 昭和23 (1948)年

東京美術学校 (現・東京芸術大学) 西洋画科を卒業。帝国劇場で舞台美術の仕事を手がけた後に、朝日新聞社に入社してカットや挿絵などを担当しました。当時、新聞の挿絵はコマ画と呼ばれた一枚絵でしたが、そのコマ画に洒落た解説文を付けるなどして独自の「漫画漫文」を創案し、戦前の代表的漫画家の一人となりました。夫人は歌人・小説家の岡本かの子、長男は画家・芸術家の岡本太郎です。

【前期展示】

- ・「東海道五十三次漫画絵巻」  
(とうかいどうごじゅうさんつぎまんがえまき)  
東京漫画会所属漫画新聞記者18名が東海道五十三次をスケッチ旅行して、1人3・4種を描いた肉筆画をセットにし、販売したものを。



東海道五十三次漫画絵巻 上  
静岡  
岡本一平

- ・「新水也空 政治家の部」  
(しんみずやそら せいじかのぶ)

大正デモクラシーを背景に政界を撫で斬りした政治漫画。「新水也空」の題名は、一平が好んだ松屋<sup>にちようさい</sup>耳鳥 斎の俳優絵帳『水や空』(安永9年<1780>刊)に因んだもの。

【後期展示】

- ・「肉筆漫画開国六十年史図繪」(にくひつまんがかいこくろくじゅねんしずえ)  
東京漫画会の後身日本漫画会会員25名が明治60年を記念し、60年間の政治・社会史から50のテーマを選び1人2図ずつ描いた肉筆画をセットにし販売したものを。執筆画家の1人、池部<sup>ひとし</sup>鈞は俳優池部良の父親で岡本一平の義弟。
- ・「新水也空 俳優の部」(しんみずやそら はいゆうのぶ)